

学校法人 兵庫医科大学

広報



兵庫医科大学



兵庫医療大学

2016年4月号
vol. 234

特集
1

学長就任挨拶
誇りある兵庫医科大学を目指して
2期目のスタートに

特集
2

巻頭インタビュー
ささやま居宅サービスセンター始動

◆ 学長就任挨拶



誇りある兵庫医科大学を目指して

新任

兵庫医科大学 学長 野口 光一

平成28年4月1日に第10代学長に就任致しました。専門は神経解剖学、神経科学、疼痛基礎研究です。平成6年に解剖学教授として採用いただき、歴代の学長、理事長のご指導、ご鞭撻のもと、医学教育と疼痛研究に専念することが出来ました。研究面では素晴らしい同僚や大学院生に恵まれ、ペインリサーチに関する多数の論文や約40名の医学博士を輩出することが出来ました。教育面では22年間解剖学教授として2,000名を遥かに超える学生諸君と接してまいりました。彼らとの交流は本当に楽しく、低学年時頼りなかった学生が立派な医師に育っていく姿を数多く見られたことは、私の人生にとって最大の喜びとなっています。また、教務部長・入試センター長など多くの役職経験を通じて大学運営や教育環境の整備に努めてきました。これらの経験を活かして、本学学生・卒業生が真に誇れる医科大学を目指して全力を尽くす所存です。

兵庫医科大学は昭和47年に創立者である森村茂樹先生により創立されて以降、44年の歴史を刻んでまいりました。今では本学医学教育の成果が全国でも注目されるようになり、これらはすべて本学学生・教員・関係者の努力の賜です。一層本学学生の自主的・能動的な学修能力の向上を図ることでこれを維持したいと考えています。研究面では関西の私立医科大学として群を抜く医学研究成果を長年にわたり挙げており、世界をリードする研究成果を発信している研究者も多数在籍しています。この伝統を絶やさぬよう研究推進の施策を進めていきたいと思ひます。また、災害拠点病院・地域中核病院として非常に高い評価を受けている兵庫医科大学病院の一層の発展のため、学長

として最大限サポートしてまいります。

私の学長としての思いは、学生諸君が帰属意識を高め兵庫医科大学を大好きになるような、そんな大学にしたい、ということです。現役学生、保護者、卒業生、教職員が一体感を持ち、誇りを持てる兵庫医科大学にするために、全身全霊を傾け努力したいと考えています。関係各位のご指導、ご鞭撻、ご協力を心よりお願い申し上げます。

略歴

学歴	昭和54年3月	京都大学工学部原子核工学科卒業
	昭和58年3月	大阪大学医学部卒業
	昭和58年5月	医師免許取得
	平成元年 5月	大阪大学大学院医学研究科修了、医学博士(大阪大学)
職歴	昭和58年5月	大阪大学医学部附属病院 研修医(整形外科)
	平成元年 6月	大阪大学医学部 第二解剖 助手
	平成元年 8月	米国立衛生研究所交換研究員(NIH Visiting Fellow)
	平成 3年 9月	和歌山県立医科大学 解剖学第二 助教授
	平成 6年 4月	兵庫医科大学 第二解剖 教授
	平成19年4月	兵庫医科大学 教務部長
	平成19年4月	学校法人兵庫医科大学 評議員
	平成21年4月	学校法人兵庫医科大学 理事
	平成27年4月	兵庫医科大学 入試センター長

専門分野

神経解剖学、内眼解剖学、神経科学、疼痛学(基礎研究)

学会活動・社会における活動・受賞等

日本解剖学会、日本神経科学学会、日本疼痛学会、国際疼痛学会、日本運動器疼痛学会、北米神経科学学会
日本疼痛学会 会長(平成18年) 理事長
日本運動器疼痛学会 会長(平成25年) 理事
国際疼痛学会理事(平成14～20年)
国際疼痛学会日本組織委員会委員長 プログラム委員
兵庫県科学賞(平成24年11月)



2期目のスタートに

再任

兵庫医療大学 学長 馬場 明道

本学開学の10年目に、学長2期目がスタートしました。この10年で、医療大学としてのコンセプト、ガバナンスは確立しました。看護学部、リハビリテーション学部のように他と横並びでスタートしたもの、薬学部のように伝統校を追う形でスタートしたもの、それぞれ取り巻く状況は異なりますが、トータルとしては、順調に成長してきています。

これからは、内向きと外向きのベクトルをより高め、大学の定めたコンセプトのもとに、学部・研究科の主体的取組みを推進することで、医療系大学としてのブランディングを目指します。

学校法人 兵庫医科大学

広報

vol.234/2016年4月号

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

INDEX 目次

特集 1

…1

学長就任挨拶

誇りある兵庫医科大学を目指して

兵庫医科大学 学長 野口 光一

2期目のスタートに

兵庫医療大学 学長 馬場 明道

特集 2

…3

巻頭インタビュー ささやま居宅サービスセンター 始動

Campus News

…5

- ・生物学 菅原文昭講師のグループが、脳の進化の定説を覆す研究を発表
- ・「研究者のコンプライアンス意識」を高める研修会・講習会を実施
- ・「兵庫医科大学 第11回レクチャーシップ 知の創造」を開催
- ・故・森村美佐子名誉理事を偲ぶ「お別れの会」を森村家と合同で開催
- ・豪・アデレード大学看護学部生が交換留学プログラムで来日
- ・良い病院の証「病院機能評価」で3回目の認定
- ・兵庫医科大学 第39回卒業式を挙行
- ・平成27年度 兵庫医療大学 学位授与式を挙行
- ・臨床栄養部の管理栄養士が健康面に配慮したスムージーとメニューを監修
- ・3学部合同 1日体験入学イベントを開催
- ・学長退任記念講演会、平成27年度退職記念講演会を実施
- ・教育と研究を集約した新教育研究棟(仮称)の建設を開始
- ・質の高い倫理審査委員会設置機関と認定
- ・平成28年度 兵庫医科大学 学部・大学院合同入学式を挙行
- ・平成28年度 兵庫医療大学 入学式を挙行
- ・病児保育室「ゆりかご」を開設

各種報告

…12

- <兵庫医科大学><兵庫医療大学>
- ・平成27年度 国家試験結果 平成27年度 卒業生進路実績 平成28年度 入学試験結果

卒業生の今

…15

- 小学一年生から夢見続けてきた舞台上
- 藤井 聡子さん

The Professional ザ・プロフェッショナル

…17

- 臨床研究を支える疫学統計の専門家 ～日本の臨床疫学におけるフロントランナー～
- 兵庫医科大学 臨床疫学 教授/臨床研究支援センター(CCRED)副センター長 森本 剛

気になる授業

…18

- 兵庫医科大学「エスコート実習」/兵庫医療大学「薬理学実習」

平成28年度 学校法人兵庫医科大学予算/主な取り組み

…19

就任挨拶/理事・監事・評議員の異動/助成金等交付状況

…21

兵医・萌えの会 状況報告/新教育研究棟建設事業募金

…23

報道機関への出演・掲載

…24

ささやま居宅サービスセンター始動



病院長
太城 力良

看護部長
平川 弘美

事務部長
内藤 泰

この春、篠山キャンパスにおいて「ささやま居宅サービスセンター」の運営が始まりました。その概要や今後の展望について、インタビューしました。

在宅医療・介護の先駆けとなる取り組み

——ささやま居宅サービスセンターの概要を教えてください。

太城病院長(以下、太城):高齢化が進み、要介護人口の増加が見込まれる中、厚生労働省は「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう」、地域包括ケアシステムという考え方を打ち出しました。これは、住まい・医療・介護・予防・生活支援を地域で一体的に提供できるようにするシステムで、地域医療の一端を担う我々も、この地域包括ケアシステムの構築・推進に積極的に参画すべきだと考えています。そこで、今回新たに、在宅医療・介護を中心としたサービスを行う居宅サービスセンターを立ち上げました。平成23年に設けられた居宅介護支援事務所に加え、今年1月に訪問看護ステーションを開設、さらに3月には訪問介護ステーション、4月には定期巡回・随時訪問介護看護事業所を開設しました。

平川看護部長(以下、平川):訪問看護ステーションには、3名の専任看護師を配置しています。急性期・慢性期のどちらに関しても正確な判断ができ、医師とのコミュニケーション能力に優れ、地域のことやささやま医療センターのことをよく分かっている必要があるため、退職した元看護部長のほか、現役の看護師長、主任と、ベテランの看護師を配置しています。外来勤務経験があるので、顔を知っている地域住民の方もいて、安心されるようです。また、訪問介護ステーションには、専任の介護福祉士3名と、定期巡回・随時訪問のサービス提供責任者を兼務する介護福祉士が1名います。土地鑑もあり、地域のことをよく分かっている優秀なスタッフです。

——篠山キャンパスで居宅サービスセンターを運営する意義は、どのようなものでしょうか。

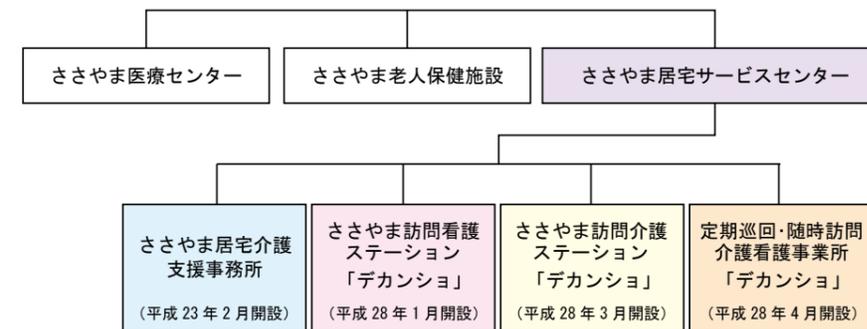
内藤事務部長(以下、内藤):本学の建学の精神の1番目にあるのが「社会の福祉への奉仕」です。そのミッションに対して、篠山という地域でどのようなことに取り組んでいくかを考えた場合、

在宅部門の強化がどうしても必要です。医療センター、老人保健施設、居宅サービスセンターの三本柱が相互にしっかり連携することで、病院、老健、在宅への移行もスムーズになります。また、4月に始めた「定期巡回・随時訪問介護看護サービス事業」は、全国的にもまだ例が少なく、篠山市では唯一の取り組みです。これは、在宅での看取りまでを視野に入れた地域包括ケアには、欠かすことのできないサービスです。

平川:医療も含め、「顔の見えるケア」をするという点でも必要性はありました。ささやま医療センターを退院される方にとっては、同じ組織の看護師が訪問してくれるという安心感があり、我々の組織の中でも、在宅移行をすすめる、情報の共有がしやすいなど、利点が多いんです。

太城:全国の大学でも在宅医療をやり始めたところではありますが、ほとんどが都市型なんです。このような地方部で大学病院が行う試みとしては、全国的にも先駆けになるでしょう。

■ 篠山キャンパス組織図



教育・人材養成の場としても期待

——介護の事業所は、人手不足のところが多いと聞きます。

内藤:従業者の確保ができず、事業所を閉めざるを得ないというところも増えていますね。職員の確保という点では、我々は母体が大きいのので、人材の確保・育成が安定的にできるという恵まれた面を持っています。ですから、そのような課題を抱えている事業所とも横のつながりを作って、協力していきたいですね。

太城:介護従事者の不足は、今のままでは大きな問題になってくるでしょうね。これまで法人としては、医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士の人材養成をしてきましたが、今後は介護福祉士の人材養成も行い、チーム医療に組み込んでいければと思っています。特にケアマネージャーについては、介護福祉士を経てなる人が多いのですが、医療に関する知識がある看護師の中からも資格を取る人たちの育てていくべきと感じています。

平川:病院の看護師も介護のことをもっと知らないといけませんね。学校法人兵庫医科大学として、同じ組織の中でさまざまな人材を養成し医療・看護・介護のギャップが少なくなれば、医療や介護サービスの向上につながると思います。

太城:それとともに、篠山キャンパスが、地域包括ケアに詳しい若い医療人の養成教育を行う場になることも期待しています。幸い、篠山キャンパスには、以前から医療と介護の中間施設とも言うべき老人保健施設がありますし、さらに在宅まで診られるようになれば、医師・看護師をはじめ、さまざまな職種について、一貫した研修を行うことができます。

地域との架け橋として

——今後の展望についてお聞かせください。

太城:篠山市では、15年先の高齢化率(全国平均)をすでに経験しています。高齢者医療・高齢者介護のやり方を全国に発信できるような組織であるためにも、居宅サービスは必須のものだと考えています。

平川:西宮市と比べ高齢化のスピード

が速い篠山市で、西宮キャンパスのお手本になるような事業にしたいですね。また、ささやま医療センター・ささやま老人保健施設・ささやま居宅サービスセンターの3つの施設は、人生のステージに合わせてご利用いただけるわけなので、困ったときに頼れる存在でなければなりませんね。

内藤:そうですね。療養計画などを一緒になって考えていける“気軽に相談ができる”組織でありたいですね。

太城:3つの施設がお互いをサポートし合うためにも、医師が訪問診療を行うシステムを構築することも視野に入れていきたいですね。信頼できる医療や介護を継続して提供するには、やはり安定した経営基盤が必要です。居宅サービスセンターを架け橋として、大学としても病院としても、さまざまな形で地域にもっと貢献し、地域との結びつきをさらに強めていきたいと考えています。



～国際科学雑誌「Nature」に論文掲載～ 生物学 菅原文昭講師のグループが、脳の進化の定説を覆す研究を発表

兵庫医科大学 生物学の菅原文昭講師、理化学研究所 倉谷形態進化研究室の倉谷滋主任研究員らの共同研究グループは、顎(あご)を持たない脊椎動物「円口類」に属するヤツメウナギとヌタウナギの脳の発生過程を観察し、これらの動物では見つかっていなかった脳の中の2領域を新たに発見しました。これは、脳のほとんどの領域が既に5億年以上前に成立していたことの証明となり、「脳は段階的に進化してきた」という定説を覆す結果となりました。菅原先生の研究は、国際科学雑誌「Nature」に掲載されるのに先立ち、オンライン版(2月15日付:日本時間2月16日)に掲載されました。



ヤツメウナギ(手前)とヌタウナギ(奥)



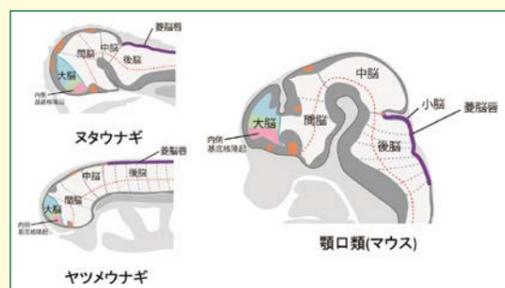
生物学 講師 菅原文昭

脳は細かく領域化された複雑な器官ですが、各領域が進化の過程でいつ獲得されたのかについては、未解明な点が多く残されています。現在地球上に生息する脊椎動物の中で最初に分岐したのは、顎を持たない「円口類」と呼ばれる動物群です。円口類と、ヒトのように顎を持つ「顎口(がっこう)類」とを比較すれば、脊椎動物の脳の初期進化を解明できるかもしれません。

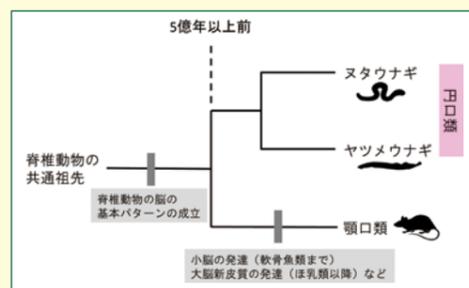


本研究を受け、3月10日の教授会にて中西学長(当時)より特別表彰されました

研究概要



本研究で解明された脊椎動物脳の領域化



本研究で解明された進化のシナリオ(時系列は左から右)

これまでの研究から、円口類の一種ヤツメウナギには大脳の一部である内側基底核隆起が見られず、小脳は未発達であることが分かっていた。そのため、2つの領域は、顎口類になってから新しく発達したと考えられていた。あるいは、これらの領域がヤツメウナギの進化の過程で二次的に退化した可能性もあった。それを調べるには、円口類のもう1つの系統、ヌタウナギの脳との比較が重要。しかし、ヌタウナギの胚を得ることは非常に難しいため、近年まで脳の発生過程についての研究は全く進んでいなかった。

そこで私たちの研究グループはまず、実験室内で得ることに成功した希少なヌタウナギ胚を使用し、ヌタウナギの脳の

発生過程を観察した。特に、脳の各領域を特徴付ける遺伝子の発現と、脳内の神経線維の走行を解析。その結果、ヤツメウナギで見つかっていなかった内側基底核隆起がヌタウナギの胚には存在することが分かった。さらに、菱脳唇(りょうのうしん)と呼ばれる小脳が発生する場となる部分と、小脳を構成するニューロンが発生するために不可欠な遺伝子の発現を発見。これらの結果を踏まえ、ヤツメウナギ胚を再解析したところ、これまで存在しないとされていた、これら2つの領域(内側基底核隆起と菱脳唇)がヤツメウナギにも存在することを証明した。

学校法人 研究不正の防止へ向けて 「研究者のコンプライアンス意識」を高める研修会・講習会を実施

文部科学省が定める「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」では、公的研究費に関わる全ての構成員に対してコンプライアンス教育を行うことが義務付けられており、本法人でも全ての関係者を対象に定期的にコンプライアンス教育を実施しています。1月20日に兵庫医療大学、1月25日に兵庫医科大学で、新日本有限責任監査法人 公認会計士の国山しのぶ氏を講師として招き、主として公的研究費を受給している研究代表者・研究分担者を対象に、研究費の不正使用、研究活動における不正行為の防止に係る「平成27年度コンプライアンス研修会」を実施しました。

さらに、昨今、臨床研究に関する公正性や質の確保に関する社会的な監視が強化されている流れなどを踏まえ、より認識を高める目的で、3月17日、倫理審査申請の対象となる研究に携わる全ての人を対象にした「臨床研究・研究者倫理合同講習会」を実施。厚生労働省 医政局 研究開発振興課 課長補佐の南川一夫氏から「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」のポイントや注意点などについて詳しく解説していただきました。



「平成27年度コンプライアンス研修会」の実施風景



倫理指針に関する講演を真剣な表情で聴講する研究者

～世界に通ずる最先端の免疫研究とその可能性を発信～ 医科大 「兵庫医科大学 第11回レクチャーシップ知の創造」を開催

平成28年1月27日、「兵庫医科大学 第11回レクチャーシップ 知の創造」を開催しました。この取り組みは、最先端の医学研究に触れることで学内外の研究者に今後の研究活動の一助としてもらうこと、また、医学部生には研究の魅力や面白さを感じてもらうことを目的として、平成18年から毎年行っています。

今回は世界トップレベルの免疫研究者であるお二方を招聘し、審良教授には「自然免疫：最近の考え方」について、坂口教授には「制御性T細胞による疾患制御」についてご講演いただきました。最先端の研究について時折ユーモアも交えながら分かりやすくお話しいただき、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。



【講演者プロフィール】

審良 静男 先生
(あきらしずお)
大阪大学 WPI 免疫学フロンティア研究センター 拠点長・自然免疫学 教授

坂口 志文 先生
(さかくちしもん)
大阪大学 WPI 免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学 教授

学校法人 故・森村美佐子名誉理事を偲ぶ「お別れの会」を森村家と合同で開催

平成27年11月22日にご逝去された故・森村美佐子 学校法人兵庫医科大学名誉理事を偲ぶ「森村家・兵庫医科大学合同お別れの会」が、平成28年1月29日にホテルオークラ神戸にて執り行われ、約380名が参列しました。

当日は故人への黙祷、友人代表の弔辞に続き、新家理事長が哀悼の意をこめて弔辞を述べました。新家理事長は、故人の夫で兵庫医科大学創設者である故・森村茂樹先生の生誕100年を祝うメモ

リアル典当日に逝去されたことに触れながら、時空を超えた夫婦の絆に敬意を表するとともに、沈痛の中にもかかわらずメモリアル式典にご協力いただいたご親族に対し感謝の意を述べました。

続いて、ご親族を代表して森村安史 仁明会理事長よりご挨拶があり、故人の生い立ちや森村茂樹先生との馴れ初め、理事として携わられた本学の運営や国際親善活動の業績、母親としてのエピソードなどが悠々と語られました。その後、参列者全員で献花をし、故人を偲びつつ閉会となりました。



大勢の人々が参列した会場



故人を思い弔辞を読み上げる新家理事長

■1/26(火)

臨床研究研修会を兵庫医科大学にて開催。国立がん研究センターの柴田大朗先生に、臨床試験計画立案時の留意点等について講演いただきました。



■1/27(水)、3/2(水)

阪神電鉄(株)と兵庫医科大学病院が連携し、女性向けに乳がんなどをテーマとした「阪神沿線健康講座」を大阪市内で開催しました。



■1/30(土)

学校法人兵庫医科大学 医療人育成センター 気管・口腔吸引講習会を地域病院の医療従事者等を対象に開催。44名が受講しました。



■2/5(金)

女性特有の体調の変化の悩みを緩和するため、保健管理センター主催のもと「女性のための健康セミナー」を初めて開催しました。





～日本の医療や文化を学ぶ3週間～

豪・アデレード大学看護学部生が交換留学プログラムで来日

平成28年2月15日から3月4日までの約3週間、オーストラリアのアデレード大学看護学部生12名が来日し、学術交換留学プログラムを実施しました。

このプログラムは、兵庫医療大学とアデレード大学が学術交流協定を結び、相互に連携して学生の交換留学を行うもので、「国際社会で活躍する看護専門職者を育てる人材の育成」を目的としています。平成26年度の交換留学開始以降、アデレード大学からの来日は毎年2月頃、兵庫医療大学からの渡豪は毎年8月頃に行い、両大学の交流はますます深まっています。

期間中、留学生たちは看護学部教員による分野別の講義や他学部の講義を受講したり、助産院や防災関連施設など外部機関へも赴いたりすることで、日本の医療制度や医療現場を体感。最終週には兵庫医科大学病院で見学実習を行い、有志で募った指導担当看護師のもとで、学んだばかりの日本語を交えながら、患者さんとのコミュニケーションや洗髪・清拭などに取り組みました。

また、授業のほか、校舎内やホームステイ先などでも学生同士が交流し、親睦を深める姿が多く見られました。



午前中は、毎日日本語のレッスン



両大学の学生が参加した看護学部の実習



兵庫医科大学病院で看護師や患者さんと交流



最終日に留学で得た学びについて発表



Karina Leatchさん

～3週間の留学を終えて～ Message from Adelaide Student

自国以外の看護を経験することで、今後の看護に対する考え方やスキルを高めたいと考え、今回日本への留学に参加しました。

留学を通して、国が違っても看護ケアの方法に共通点は多いと感じる一方、大地震などの災害を経験した日本だからこそ、他職種と協働して行う看護の重要性について、兵庫医科大学病院での実習などから学ぶことができました。

留学を終え、日本における看護プロフェッショナルたちの高い技術や豊かな経験に触れたことで、大きな学びを得られた3週間だったと感じています。今回の経験を活かして、将来は看護を担う医療人としてグローバルな活躍ができるよう頑張ります。



～医師らしく・そして兵庫医大生らしく～

兵庫医科大学 第39回卒業式を挙行

医師らしい「凛とした面持ち」と、兵庫医大生らしい「優しい雰囲気」を持った学生たちが今年度も巣立っていきました。

平成28年3月3日に行った兵庫医科大学 第39回卒業式では、多数の保護者の方々が見守る中、103名の卒業生が学位記を授与されました。卒業生は、中西憲司学長(当時)からの激励の言葉や、来賓の皆さまから数々の祝辞を受けていました。

創設者 森村茂樹先生にちなんで「森村賞」を受賞

した学生たちは、誇らしく盾を掲げ「兵庫医大の卒業生として恥じない医師になりたい」とコメントしていました。

卒業式後には、卒業生の代表が新嘉理理事長をはじめとする先生方と一緒に記念樹を植樹。また、友人と記念撮影をしたり、保護者の方々と喜びを分かち合ったりするなど、思い思いの時間を過ごす卒業生たちの姿も見られ、学生生活最後の忘れられない1日となりました。



兵庫医科大学 第39回卒業式



壇上で一人ひとりに学位記を授与



記念樹をキャンパス内に植樹

【森村賞】

平成27年度卒業試験やこれまでの成績の推移、課外活動等において総合的に優秀な成績を収めた学生に贈られる賞



平成27年度 森村賞受賞者
左:松本侑香、右:坂井博明



平成27年度 兵庫医療大学 学位授与式を挙行

平成28年3月15日、神戸ポートピアホテルにて兵庫医療大学 学位授与式を執り行い、薬学部102名、看護学部98名、リハビリテーション学部 理学療法学科41名、作業療法学科47名の計 288名と、大学院 看護学研究科 3名、医療科学研究科 8名の計 11名が卒業していきました。

馬場明道学長の式辞では、3つのキーワード(多様性、自立性、人間力)に沿って、これから社会生活を送るにあたり今一度考えてほしい事や、「No.1よりOnly 1」という言葉に含まれる「自分が不可欠となる存在になること」を心にとめてほしいという旨の激励の言葉がかけられました。

また、式典にて、各学科で特に優秀な学業成績を収めた卒業生に「学長賞」が、課外活動において特に顕著な成果をあげた卒業生に「課外活動功労賞」が贈られました。



各賞受賞者 右から…学長賞受賞:三好祥太(薬)、小寺千明(作業)、小泉美緒(理学)、上田梨奈(看護)、課外活動功労賞:丸尾優希(理学)

【記念植樹】

学位授与式に先立ち、3月4日に平成27年度卒業生による記念植樹の式典を挙行し、卒業生を代表して、作業療法学科の橋本純大さんと須賀奈々美さんが、新嘉理理事長や馬場明道学長とともに土入れを行いました。

開学以来、毎年、卒業生からソメイヨシノ1本を寄贈してもらい植樹を行っていましたが、植樹した木も今年で6本目に。4月になれば、より華やかな桜の姿が見られることでしょう。



大学病院 良い病院の証「病院機能評価」で3回目の認定

兵庫医科大学病院は平成27年10月19日、20日に受審した「病院機能評価」(※)について、平成28年2月5日に3回目の認定を受けました(初回認定:平成17年12月19日)。当院の受審結果は、全89項目中、S評価が9項目、A評価が72項目、B評価が7項目、C評価が1項目。「秀でている」と評価される「S」が9項目もあることは、全国の病院の中でも

稀なこと、「良い病院」として客観的に評価された結果となりました。

※病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みのこと。財団法人日本医療機能評価機構の評価調査者(サーベイヤー)が中立・公平な立場に立って、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価する。



認定証

2/11(木)

兵庫医療大学の在学学生2名が「神戸学生フォーラム」の討論に参加し、「未来の健康社会を開拓するために必要な人材とは?」をテーマに他大学生と議論しました。



2/20(土)

これから臨床実習に挑む医学部4年次生を対象に「平成27年度 兵庫医科大学 白衣授与式」を挙行了しました。



2/20(土)

新病院棟建設に向けた収支改善策等を検討するため、医師・看護師・メディカル職員・事務職員などの病院職員が集まり、研修会を実施しました。



2/24(水)

兵庫医科大学病院は、採血・血液検査・心電図などの検査で高い能力をもつ病院の証とされる「臨床検査室認定(ISO 15189:2012)」を取得しました。



大学病院 臨床栄養部の管理栄養士が健康面に配慮したスムージーとメニューを監修

臨床栄養部の管理栄養士が健康面に配慮して監修したスムージーとメニューが、新たに販売されることとなりました。スムージーは、阪神電気鉄道(株)と学校法人兵庫医科大学が共同で進めている「沿線住民の健康増進による沿線活性化」プロジェクトの一環として、同社のグループ会社である(株)エキ・リテール・サービス阪急阪神 直営のジューススタンド「ジュースデリ マメカ」の商品として監修。管理栄養士の前野愛さんと渡邊千恵さんが、素

材や栄養価、名前などについての検討を重ね、平成28年2月12日に約1食分の野菜が摂れる「ベジフル サラダスムージー」として発売されました。

また、院内にある宝塚ホテル レストランリビエールで販売するメニューの監修には、管理栄養士の塩見貴久さんが企画に携わり、野菜222gが摂取できる「ヘルシーメニュー」として、平成28年3月16日から販売されています。



「ヘルシーメニュー」
【販売場所】
兵庫医科大学病院
10号館10階
「宝塚ホテルレストラン
リビエール」

【価格】
1,100円(税込)



【メニュー】
青梗菜のロールジュマイ・ブチマトのひとオードブル・人参のマスタードマリネ・菜の花のお浸し・10種の具材の食べるスープ・米飯

成分	
エネルギー	505kcal
たんぱく質	19.4g
脂質	13.9g
炭水化物	73.3g
塩分	2.60g
食物繊維	5.30g

バランス良く野菜を摂りましょう!



「ベジフル サラダスムージー」を監修した
兵庫医科大学病院 管理栄養士 渡邊 千恵さん

「外食が続く」「忙しくて調理する時間が取りづらい」等の理由で野菜が不足していませんか?『ベジフル サラダスムージー』は手軽においしく飲めて、不足しがちな栄養素(ビタミン、ミネラル)や食物繊維の補給に役立ちます。食事に1杯追加したり間食として飲むなど、新たな食習慣のひとつとして取り入れ、バランスの良い食生活に近づけてください!

「ベジフル サラダスムージー」

【販売店舗】
ジュースデリ マメカ
・阪急西宮ガーデンズ店
・ららぽーと甲子園店

【価格】
Rサイズ(200ml)/380円(税込)
Lサイズ(300ml)/480円(税込)



～兵庫医科大学で大きな業績を残した6名が退任・退職～ 学長退任記念講演会、平成27年度退職記念講演会を実施

平成28年3月22日・23日の2日間、中西 憲司 第9代学長の退任記念講演会、および平成27年度末で退職される5名の教授の退職記念講演会を実施しました。当日は、講座の教員、関わりがあった職員、在学生、名誉教授など多数の方々が出席。先生方が兵庫医科大学で行った研究・教育などの話に耳を傾けました。また、講演終了後には、教授方の長年のご功労を称え、学生や教職員の代表者などから花束が贈呈されました。



■学長退任記念講演タイトル

「32年間の歩み」中西 憲司 学長

■平成27年度退職記念講演タイトル

- 「ヒトゲノムと多様性」玉置 知子 主任教授(遺伝学)
- 「神経眼科と外眼筋手術」三村 治 主任教授(眼科学)
- 「命を託されて歩んだ40年」笹子 三津留 主任教授(外科学〔上部消化管外科〕)
- 「Mann tut was Mann kann!」筒井 ひろ子 主任教授(病原微生物学)
- 「手の外科とスポーツ傷害治療 -33年間の軌跡-」田中 寿一 教授(整形外科)

～事前予約制のイベントで、意欲ある高校生が参集～ 3学部合同 1日体験入学イベントを開催

平成28年3月21日、高校新2・3年生を対象として「3学部合同 1日体験入学」を実施しました。参加は事前申込制でしたが、定員を大幅に上回る応募があったため、抽選の結果、169名の高校生に入学いただきました。



午前中は、全学部合同のプログラムとして、オクタホールでオープニングガイダンスを行った後、キャンパスツアーで各学部の実習室や図書館などを在学生スタッフが案内。その後、高校生は兵庫医療大学の特徴である「チーム医療」を学ぶ特別講義と、グループワーク「チームビルディングゲーム」に取り組みました。

昼食を在学生スタッフや教員と一緒に食べた後、午後からは各学部学科に分かれて実習体験を行いました。

朝から夕方までという長時間のプログラムにも関わらず、参加者は普段なかなか体験できない大学での実習や実験形態の授業を体感でき、満足する様子が伺えました。



「薬学部 体験実習テーマ」
「11の研究室に分かれて実験体験」

「看護学部 体験実習テーマ」
「日常にも役立つ看護の知識と技術」

「理学療法学科 体験実習テーマ」
「スポーツ理学療法入門」

「作業療法学科 体験実習テーマ」
「作業療法への一歩～コミュニケーションと手の機能検査体験～」

参加者の感想

- ・体験実習では深く学ぶことができ、とても面白かった
- ・チーム医療特別イベントのグループワークでは、グループからチームに変わる実感がありました
- ・在学生も先生も明るく優しく、この大学に絶対来たいと思った

教育と研究を集約した 新教育研究棟(仮称)の建設を開始

兵庫医科大学は、平成29年11月の新教育研究棟(仮称)竣工に向け、建設工事を開始します。工事に先立ち、旧6号館跡地にて平成28年3月24日に執り行った地鎮祭には、理事長・学長をはじめ、多くの関係者が出席。新教育研究棟(仮称)の建築工事の無事を祈りました。

【新教育研究棟(仮称)内の施設】

12階	自習室
11階	基礎系講座研究室
10階	基礎系講座研究室
9階	基礎系講座研究室
8階	先端医学研究所、基礎系講座研究室
7階	自然科学系実験室、共同利用研究施設
6階	講義室、学生ラウンジ、学生食堂、書店、売店
5階	講義室、実習室
4階	図書館、実習室
3階	ラーニングスクエア、講義室、アーカイブス
2階	メインエントランス、大講義室、中講義室
1階	解剖実習室

建築工事の無事を願って(地鎮祭)

新教育研究棟(仮称) 完成イメージ

西日本私立大学で初! 質の高い倫理審査委員会設置機関と認定

兵庫医科大学は、厚生労働省の平成27年度倫理審査委員会構築事業において、他施設の模範となるような質の高い倫理審査委員会(IRB)を設置していると認定されました。

当該事業は、倫理審査委員会の機能が全般的に向上することを目的として昨年度から実施されていますが、国内に設置された約1,400のIRBのうち、今年度認定を受けたのは、国立研究開発法人国立国際医療研究センター、国立大学法人東北大学、国立大学法人三重大学医学部附属病院、国立大学法人愛媛大学医学部附属病院、学校法人藤田学園藤田保健衛生大学、そして本学の6機関のみです。

この取り組みが始まって以来、西日本(※)の私立大学で質の高い倫理審査委員会を設置していると認められたのは、本学が初めてになります。



倫理審査委員会認定証

【認定概要】

名称:兵庫医科大学倫理審査委員会
認定日:平成28年3月25日
有効期間:
平成28年4月1日～平成31年3月31日

※近畿、中国、四国、九州、沖縄地方

2/27(土)

兵庫医科大学 公衆衛生学講座主催の一般公開講座「PM2.5 及びオゾンによる大気汚染とその健康影響」が大阪市内で開催されました。



3/1(火)

ノボテル甲子園にて第8回学校法人兵庫医科大学連携病院の会を開催し、会員病院の皆様に対して、各キャンパスの現状報告等を行いました。



3/5(土)

石蔵文信教授(大阪樟蔭女子大学健康栄養学部)を招き、兵庫医科大学学術講演会「『熟年夫婦の体調不良「夫源病」～こんな私に誰がした～』を開催しました。



3/11(金)

篠山市消防本部協力のもと、ささやま医療センターにて教職員が参加する消防訓練を実施しました。



平成28年度 兵庫医科大学 学部・大学院合同入学式を挙行

平成28年4月4日、平成記念会館において「平成28年度 兵庫医科大学 学部・大学院合同入学式」が執り行われました。

今年、大いなる期待を胸に兵庫医科大学に入学したのは、医学部生112名、大学院生51名の計163名。式の冒頭、まずは野口学長が式辞を述べ、「満開の桜の下、本日入学された皆さん、誠におめでとうございます。ご家族の皆様もさぞお喜びのことと存じます。実は私も3日前に学長の辞令をもらい、新しい出発をしたばかりです。新入生の皆さんを立派な医師に育てるために全身全霊をかけて努力いたしますので、ぜひ皆さんも一緒にがんばりましょう」と、大勢の新入生に温かい言葉を贈りました。

また、入学宣誓では、名前を呼ばれた新入生が一人ずつ緊張し

た面持ちで登壇し、誓約書を野口学長に提出。続いて、大学院生による入学宣誓、来賓祝辞の後、最後に出席者全員で校歌を斉唱し、新入生の皆さんは晴れて兵庫医科大学生としてのスタートを切りました。



平成記念会館で執り行われた平成28年度入学式の模様



大いなる志を胸に入学宣誓を行う医学部生

～学部生(第10期生)と大学院生が晴れやかに入学～ 平成28年度 兵庫医療大学 入学式を挙行

平成28年4月5日、神戸ポートピアホテルにおいて平成28年度 兵庫医療大学入学式を執り行い、薬学部153名、看護学部116名、リハビリテーション学部90名(理学療法学科48名、作業療法学科42名)の合計359名が入学しました。また大学院の入学式も併せて行われ、薬学研究科3名、看護学研究科7名、医療科学研究科8名がそれぞれ入学しました。

馬場明道学長による入学許可宣言の後、新入生代表が入学宣誓を行い、入学への決意を新たに。学長式辞では「これまでの歴史が紡いできた人類の英知を大学で学んでほしい」と大学での学びについて語られ、新入生に対する激励の言葉が贈られました。次いで、兵庫医科大学野口光一学長による祝辞、来賓祝辞、祝電披露、校歌斉唱が行われました。

その後、新入生は午後から兵庫医療大学にてオリエンテーションに参加し、学生生活を送っていくにあたっての説明を熱心に聞いていました。第10期生にあたる学部新入生および大学院新入生のご入学を教職員一同、心より歓迎いたします。



～働きやすい職場の実現に向けて～病児保育室「ゆりかご」を開設

「教職員や学生の育児を支援し、少しでも働きやすい職場を作りたい」という思いをこめて、平成28年4月1日、西宮キャンパス1号館2階に病児保育室「ゆりかご」を開設しました。

病児保育室とは、「熱を出して一般の保育施設では預かってもらえない」「入院するほどではないが学校に行ける状態ではない」「回復期にはあるが目が離せない」といった状態の子どもを預かる施設のこと。「ゆりかご」では、本法人に所属する教職員や学生の子どものみを対象とし、仕事や授業を休めない父母に代わり、研修を受けたベテランの保育スタッフ(※)が病気で不安なお子さんを優しく看病します。

※兵庫県認定業者であるファミエクラブ株式会社が施設派遣型病児保育を請け負い、兵庫医科大学病院の医師・看護師と連携して運営を行います。

■病児保育室「ゆりかご」の概要
定員：2名(感染症児がいる場合は1名のみ)
保育時間：平日 8:30～18:00
休室日：土・日・祝、年末年始(12/29～1/3)、お盆(8/13～15)、創立記念日(11/22)
対象：学校法人兵庫医科大学に所属する教職員および学生が養育する子ども(6ヶ月～小学校3年生)



オープンに先立ち、3月25日に理事向けの内覧会を実施
子どもが安全に遊べるように配慮されたプレイルーム

3/18(金)

第4回クリニカルパス大会がささやま医療センターにて行われ、看護師をはじめとする多数の教職員が参加しました。



3/28(月)

平成27年度学校法人兵庫医科大学医療人育成センター認定看護師教育課程修了式が執り行われ、研修生29名が修了しました。



各種報告 <兵庫医科大学>

■平成27年度 兵庫医科大学 国家試験結果

第110回 医師国家試験 (試験日:平成28年2月6日～8日、合格発表:平成28年3月18日)

区分	6年制新卒			6年制既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医科大学	103	98	95.1%	2	2	100.0%
【参考】本学昨年度	101	99	98.0%	5	4	80.0%
全国	8,660	8,165	94.3%	774	465	60.1%

■平成27年度 兵庫医科大学 卒業生進路実績

◆進路一覧

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 兵庫医科大学病院 | 沖縄県立中部病院 |
| 京都大学医学部附属病院 | 県立南部医療センター・こども医療センター |
| 大阪大学医学部附属病院 | 市立豊中病院 |
| 神戸大学医学部附属病院 | 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 |
| 滋賀医科大学医学部附属病院 | 東大阪市立総合病院 |
| 岐阜大学医学部附属病院 | 市立芦屋病院 |
| 佐賀大学医学部附属病院 | 宝塚市立病院 |
| 鹿児島大学病院 | 西脇市立西脇病院 |
| 奈良県立医科大学附属病院 | 大津市民病院 |
| 大阪市立大学医学部附属病院 | 公立八鹿病院 |
| 名古屋市立大学病院 | 公立穴栗総合病院 |
| 大阪医科大学附属病院 | 公立豊岡病院組合立豊岡病院 |
| 川崎医科大学附属病院 | 公立学校共済組合近畿中央病院 |
| 関西医科大学附属病院 | 荒尾市民病院 |
| 慶應義塾大学病院 | 社会医療法人製鉄記念広畑病院 |
| 東京医科大学病院 | 医療法人明和病院 |
| 久留米大学病院 | 名古屋掖済会病院 |
| 独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター | 一般財団法人 住友病院 |
| 独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター | 医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 |
| 独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター | 大阪府済生会茨木病院 |
| 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター | 大阪府済生会千里病院 |
| 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター | 大阪府済生会中津病院 |
| 独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院 | 社会医療法人愛仁会 千船病院 |
| 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立急性期・総合医療センター | 医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院 |
| 兵庫県立尼崎総合医療センター | 岡山済生会総合病院 |
| 兵庫県立淡路医療センター | 社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 |
| 和歌山県立医科大学附属病院 | 京都第二赤十字病院 |
| 兵庫県立柏原病院 | 日本赤十字社和歌山医療センター |

■平成28年度 兵庫医科大学 入学試験結果

定員:112名

<推薦入試>

入試種別	推薦	
	一般公募制	地域指定
募集人員	約10名(※)	5名以内
志願者	60名	46名
受験者	60名	44名
合格者数	11名	5名

(※)特別指定校からの1名を含む

<一般入試、センター試験利用入試>

入試種別	一般	センター利用	
		センター(前期)	センター(後期)
募集人員	約79名	約15名	約3名
志願者	1,815名	771名	75名
受験者	1,739名	765名	75名
1次合格者数	406名	272名	24名
正規合格者数	86名	25名	3名